平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	2	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	石井　邦男			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	生涯学習情報提供に係るシステムの更新	③平成27年度に取組む改革・改善内容	生涯学習情報の効果的なPR方法を推進する
②①に基づく取組み結果	システムの更新を行うことで、利便性を高めた結果、アクセス件数が増加し、ネット予約などの機能を利用する市民が増加した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民 関係機関職員	意図（対象をどうするのか）	活力のある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	生涯学習施設の供用及び生涯学習情報の提供			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	自己実現の場として、さらには社会参加への機会の場として、利用者は増加し、学習意欲の多様化が進んでいくものと推察される。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：利用者の増加に対応し、システムの更新を行い、さらに効率よく「施設予約」などができる利用しやすいシステムの構築を図った。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	生涯学習推進センター利用件数	2,076	1,968	2,085	件	業務取得
ii	インターネットアクセス件数	30,819	30,259	32,058	件	業務取得
iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	42,047	40,442	金額（千円）	内容	29,714
国支出金（千円）	0	0	12,991	使用料及び賃借料	0
県支出金（千円）	0	0	6,838	委託料	0
市債その他（千円）	0	0	6,782	需用費	0
一般財源（千円）	42,047	40,442	7,047	賃金	29,714

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	年々、市民の学習意欲の多様化・専門化が進んでおり、学習機会の増加が求められている					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コスト削減のための人員体制や組織の統廃合を進めるなかで、多様な学習要求に対してサービスの向上を図るため					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H25からの繰越
③達成状況				H25⇒26繰越			
④未完了・非着手の理由				補正			現年分
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	学習センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	2	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	石井　邦男			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	コスト削減のため、人員体制や事業の改善等を行いつつ、地域の学習拠点としての有効性を高める。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	さらなる学習機会の提供に努め、事業の改善等を進める。
②①に基づく取組み結果	発達課題や現代的課題に応じた学習機会の提供に努めた結果、受講者数が前年度比30.3%増となった。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民	意図（対象をどうするのか）	活力ある地域社会の推進
②事務事業の概要	団体・学習サークルなどへの適正で、効率的な施設の提供や生涯各期に合わせた講座の主催			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	学習意欲の拡大、学習サークルなどへの参加によって、さらに学習センターを生涯学習の場として利用する市民が増えるものと推察される。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	市民の学習ニーズに応え、学習意欲を満足させるため、市民の関心があるテーマを選ぶようにし、学習内容の創意工夫に努めた。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	延べ主催講座参加者数	17,679	16,671	21,725	人	業務取得
ii	延べ施設利用者数	279,042	277,749	255,487	人	業務取得
iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	109,593	95,113	金額（千円）	内容	94,290
国支出金（千円）			95,113	市内5館の管理運営に要する経費	
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	109,593	95,113			94,290

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	学習ニーズの多様化・専門化及び学習意欲の向上から、こうした希望に応える講座提供が求められる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地域の生涯学習の拠点として,市民ニーズにフレキシブルに対応できる講座内容の立案を行う必要があるため					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H25からの繰越
③達成状況				H25⇒26繰越			
④未完了・非着手の理由				補正			現年分
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	学習センター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	石井　邦男			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	東初富公民館空調設備改修工事及び敷地内整備工事並びに旧三橋記念館解体工事を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	生涯学習推進センター及び北部公民館の外壁・屋上防水改修工事、空調設備改修工事を行う。
②①に基づく取組み結果	【東初】空調設備改修工事・設計委託・敷地内整備工事・駐車場整備工事・フェンス設置工事【南部】外壁・屋上防水改修工事【旧三橋記念館】解体工事・家屋調査委託・不動産鑑定委託【北部】屋上改修工事設計委託・空調設備改修工事設計委託【生涯学習推進センター】外壁・屋上防水改修工事設計委託・空調設備改修工事設計委託を実施した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	生涯学習活動を行う市民	意図（対象をどうするのか）	改修の実施により利用環境悪化を防ぎ、環境の快適化により施設の利用促進に資する。
②事務事業の概要	東初富公民館空調設備改修工事及び敷地内整備工事並びに旧三橋記念館解体工事を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	施設の老朽化に伴い、改修個所が増加することが予想される。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	【東初】空調設備改修工事・設計委託・敷地内整備工事・駐車場整備工事・フェンス設置工事【南部】外壁・屋上防水改修工事【旧三橋記念館】解体工事・家屋調査委託・不動産鑑定委託【北部】屋上改修工事設計委託・空調設備改修工事設計委託【生涯学習推進センター】外壁・屋上防水改修工事設計委託・空調設備改修工事設計委託を実施した。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	工事件数	2	0	13	件	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	7,649	280,713	金額（千円）	内容	178,028
国支出金（千円）	2,000		247,106	工事請負費	0
県支出金（千円）			8,810	委託料	
市債その他（千円）		213,800			
一般財源（千円）	5,649	66,913			178,028

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	施設の老朽化に伴い、改修個所が増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であり、突発的な工事施工を回避する必要があるため					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	東初：空調・敷地内・フェンス 南：外壁	計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	予定どおり実施	253,569	292,570	当初	229,269	280,713	H25からの繰越	45,697
③達成状況	完了			H25⇒26繰越	45,697			
④未完了・非着手の理由				補正	24,300		現年分	235,016
				流用・充当	−6,696			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）	0					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	きらり鎌ケ谷市民会館整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	石井　邦男			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容		③平成27年度に取組む改革・改善内容	用地買収、所有権移転、H28.4の供用開始に向けて駐車場として整備する
②①に基づく取組み結果			

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民（施設利用者）	意図（対象をどうするのか）	利便性の向上
②事務事業の概要	きらり鎌ケ谷市民会館の駐車場を確保するため、用地買収に向けた用地測量及び物件調査			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	既存駐車場21台、用地買収地予定台数50台が見込まれ、来場者アンケートの交通手段状況では車での来場は30%程度となっていることから、この整備で充足するものと思慮する。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	用地測量により買収面積が確定（1,019.66㎡が1,022.34㎡となる） 物件補償により、1個人、4事業所の補償額が算出された。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	中央公民館利用者数	87,533	97,436	66,674	人	業務取得
	ii	きらりホール来場者数			74,932	人	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		0	9,655	金額（千円）	内容	328,675
	国支出金（千円）			475	用地測量委託費	
	県支出金（千円）			9,180	物件調査委託費	
	市債その他（千円）		7,200			285,400
	一般財源（千円）		2,455			43,275

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	既存駐車場21台のため台数不足					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	2普通	ⅴ総合評価	7拡充
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	平成27年度用地買収のための調査のため継続となる					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	用地買収にかかる用地測量及び物件調査	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	用地測量及び物件調査終了	10,703	10,703	当初		9,655	H25からの繰越
③達成状況	完了			H25⇒26繰越			
④未完了・非着手の理由				補正	10,703		現年分　9,655
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	図書館蔵書・資料整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	髙橋　千恵子			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	保育園や学校との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えた団塊の世代の憩いの場を確立する。インターネットを利用した蔵書公開システムや図書館ホームページを活用し多くの情報を提供する。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	保育園や学校、行政の関係機関との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えたシニア世代の憩いの場を確立する。
②①に基づく取組み結果	学校との連携が進んだことにより、団体貸出が増加している。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館の資料（図書及び視聴覚資料）	意図（対象をどうするのか）	利用者の多様なニーズに応えるため、図書館資料の質的向上を図る。
②事務事業の概要	資料収集基準に基づき図書・視聴覚資料を選定・購入			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	昭和49年10月に条例を設置し業務を開始。その後昭和52年に市役所旧庁舎へ改修・移転し、昭和62年に現在地に図書館本館を建設した。また、市民がより身近に利用できるよう、分館を整備した。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	一般図書5，491冊、児童図書2，288冊、視聴覚資料133点を購入することにより、平成26年度末の蔵書数は、301，319冊となった。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	蔵書数	295,620	297,926	301,319	冊	業務取得
	ii	図書購入数	7,848	7,838	7,779	冊	業務取得
	iii	図書貸出数	445,703	410,564	400,266	冊	業務取得

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		15,000	15,000	金額（千円）	内容	15,000
	国支出金（千円）			9,966	一般図書購入：5,491冊	
	県支出金（千円）			4,021	児童図書購入：2,288冊	
	市債その他（千円）			1,013	視聴覚資料購入：133点	
	一般財源（千円）	15,000	15,000			15,000

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	様々な分野において図書、視聴覚資料の充実が求められている。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	7拡充
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者の多様化するニーズに対応するために各種分野に及ぶ図書、視聴覚資料の充実が求められているため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	図書資料購入	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	資料収集基準に基づき図書・視聴覚資料を選定・購入	15,000	15,000	当初	15,000	15,000	H25からの繰越	0
				H25⇒26繰越			現年分	15,000
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成27年度への繰越額（単位；千円）	0					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	図書館情報ネットワーク整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	髙橋　千惠子			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	平成25年1月のシステムリニューアルに伴い、システムの適正な運用を図り利用者の利便性を図る。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	蔵書公開システムや図書館ホームページのさらなる充実を図り、利用者により多くの情報を提供する。
②①に基づく取組み結果	インターネットによる予約が増加している。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	①インターネットを使った図書館と利用者とのネットワーク ②図書館間のネットワーク	意図（対象をどうするのか）	利用者の利便性の向上。市民・利用者が必要とする図書資料や情報を迅速かつ的確に提供する。
②事務事業の概要	①図書館が所蔵する図書資料のインターネットでの公開 ②図書の予約貸出			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	昭和62年よりコンピューターシステムを導入し、貸出サービスを実施している。インターネットの普及による市民要望の高まりに対応し、平成20年より蔵書の公開・予約を開始。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果

図書館ホームページアクセス数　155，211件
インターネット予約数　30，293件

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	ホームページアクセス数	167,847	157,649	155,211	件	業務取得
ii	予約リクエスト数	40,530	42,563	41,883	件	業務取得
iii	延べ利用者数	126,912	123,158	122,133	人	業務取得

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	8,063	8,225			8,250
国支出金（千円）			609	プロバイダー回線使用料	
県支出金（千円）			131	電話料	
市債その他（千円）			6,837	図書館オンライン使用料	
一般財源（千円）	8,063	8,225	648	インターネット検索・予約システム使用料	8,250

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	インターネットの普及による情報化社会に対応するため、図書館情報システムのさらなる充実を図る。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者が自宅にいながら図書の検索や予約ができるシステムは、今後さらに内容を充実させ拡大していく必要性があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	システム運用
②計画に対する事業実績	図書館が所蔵する図書資料をインターネットで公開し、予約貸出をする。
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
8,287	8,292	当初	8,287	8,225	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越	0			
		補正	0		現年分	8,225
		流用・充当	5			

平成27年度への繰越額（単位；千円）　0